

保証書

保証期間内に取扱説明書等の注意書きにしたがって正常な使用状態で使用していて故障した場合には、お買い上げの販売店に本書をご提示の上、修理をご依頼下さい。

型名	ACインパクトレンチ ACIW-350	お買い上げ日	保証期間
		年 月 日	お買い上げ日より 6か月
販売店	販売証明書やレシート等を添付してください。		

- 保証内容は本製品自体の無償修理に限ります。
- 保証期間内でも次のような場合には有料修理となります。
 - (イ) 使用上の誤り及び不当な修理・改造による故障及び損傷。
 - (ロ) お買い上げ後の輸送・移動・落下等による故障及び損傷。
 - (ハ) 一般家庭用以外(業務用、レンタルなど)に使用された場合の故障及び損傷。
 - (ニ) 定格時間以上のご使用、または定格時間内であっても激しい連続作業でご使用になった場合の故障及び損傷。
 - (ホ) 火災・地震・水害・落雷・その他天災・異常電圧による故障及び損傷。
 - (ヘ) 本書のご提示がない場合。
 - (ト) 本書に販売証明書やレシート等、お買い上げ年月日を証明できる物が添付されていない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
- 本書は付属品・消耗品には適用されません。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。 This warranty is valid only in Japan.
- 本書は最初の購入にのみ適用され、以降の転売・譲渡には適用されません。
- 本書に記入のあるお買い上げの販売店に修理をご依頼になれない場合には当社までご相談ください。
- 保証期間経過後の修理や部品取り寄せについてはお買い上げの販売店にご依頼ください。

お客様
相談窓口

☎ 03-3252-8861

受付時間：9:00~12:00 13:00~17:00
(土日祝日及び弊社休日を除く)

修理及び別売品の購入はお買い上げの販売店にご依頼ください。
左記相談窓口では直接対応できません。あらかじめご了承ください。

SHINKO 株式会社 新興製作所

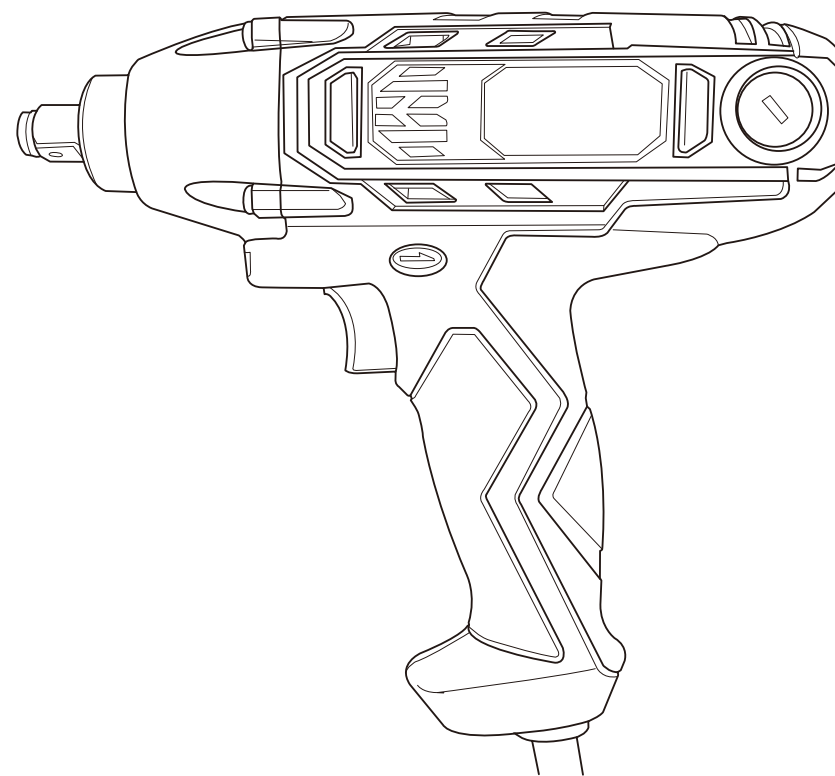
本社 〒101-0035
東京都千代田区神田紺屋町11番地
TEL: 03-3252-8861

修理工場 〒340-0002
埼玉県草加市青柳6-30-9
TEL: 048-931-4151

ホームページ <https://www.shinko-ss.co.jp>



ACインパクトレンチ ACIW-350 取扱説明書



二重絶縁

家庭用

本製品は家庭用です。業務用にはお使いにならないでください。

このたびはACインパクトレンチをお買い上げいただきましてありがとうございます。
ご使用に際しては、必ずこの取扱説明書をよくお読みいただき、正しくご使用ください。
お読みになった後は、必ず保存してください。

安全にご使用いただくために特に注意していただきたいこと

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次の「△警告」を必ず守って下さい。
 - ご使用前に、この「△警告」をよくお読みの上、指示に従って正しくご使用下さい。
 - お読みになった後は、電動工具をお使いになる方が、いつでも見られる所に保管して下さい。
- ※本文は共通事項であり、製品により合致しないことがあります。

△ 警告

1.作業をするときの服装について

- 電動工具を使用するときは長袖、長ズボン、帽子、保護メガネ、手袋等を必ず身につけて下さい。屋外作業するときはゴム手袋、滑り止めのついた履物をおすすめします。
- 作業中、本工具（砥石等）の破損、加工する材料が急に回転したり、飛んだとき、思わぬけがの原因となります。
- 作業中はだぶだぶの衣服や、ネクタイ等は着用しないで下さい。
- 作業中、回転部に巻きこまれ思わぬけがの原因となります。
- 粉じんの多い作業のときは、保護メガネ、防じんマスク等を着用して下さい。

2.作業をする場所について

- 作業場、作業台は整頓して、きれいなところで作業をするようにして下さい。
- ちらかった作業場、作業台は事故の原因となります。
- 作業は常に明るい場所で行うようにして下さい。
- 暗い場所での作業はけがの原因となります。
- 電動工具のモーターが回転するときに火花が発生します。又、研削するときに研削粉が火花となって飛散します。可燃性の液体やガスのある場所では絶対に使用しないで下さい。
- 可燃性の液体やガスに引火しますと火災や爆発の恐れがありますので、特に注意が必要です。
- 作業場は作業員以外は近づけないで下さい。又、作業員以外の人には電動工具や電源コードに触れさせないで下さい。
- 作業場の近くに作業員以外の人がいったり、電動工具に触れたりしますと思わぬけがの原因となります。
- 電動工具は雨の中、湿気の多い場所では使用しないで下さい。
- 感電の恐れがあり大変危険です。

△ 警告

3.電気について

- 使用電源は銘板に表示してある電圧でご使用下さい。
- 表示を越える電圧で使用しますと回転が異常に高速となったりし、機体が破損する恐れがあり危険です。
- 感電防止のため漏電しゃ断器が設置されていることをご確認ください。二重絶縁品を除き、必ずアースを接地して下さい。

4.取扱について

- 電動工具を使用するときは取扱方法、作業の仕方、周囲の状況等に十分注意をして作業をしてください。
- 電源に電源プラグを差し込む前に本機のスイッチを切ってください。
- スイッチを入れたまま電源プラグを差し込みますと、不意に起動して思わぬ事故の原因となります。
- ご使用前に本機に損傷がないか、正常に作動するか、工具（砥石等）にひび割れ、キレツがないか、ネジが確実に締まっているか、工具（砥石、ドリル等）が確実に付いているかをご確認ください。万一、本機に損傷、異常がありましたら取扱店、又は当社に修理を依頼して下さい。
- ネジがゆるんでいたり、工具が正確にセットされていない時は本機の破損、けがの原因となります。
- 初めて本機を使用するとき、工具（砥石、ドリル等）を交換したときは3分以上試運転をしてください。その日の最初の作業のときは作業前に1分以上動作させてください。
- 試運転をしないで作業を開始しますと、思わぬけがの原因となります。
- 作業の都合で保護カバーを取り除いたり、改造はしないでください。
- 規定外の方法でご使用になりますと本機の破損、けがの原因となり大変危険です。
- 運転中は回転部、工具の作動部（砥石、ドリル等）等には絶対に触れないでください。
- 本機の点検、掃除、工具（砥石、ドリル等）の交換等のときは必ずスイッチを切り、差し込みプラグを抜いてください。又、作業が終わりましたら必ず差し込みプラグを抜いてください。
- スイッチ、差し込みプラグを入れたまま点検、掃除、工具の交換、放置等をしますと不意に起動して思わぬけがの原因となります。

⚠ 警告

- 運転中、本機の調子が悪くなったり、異常に気がついたときはスイッチを切り、電源プラグを抜き、点検、修理に出してください。
- 異常な状態で連続運転しますと、本機の破損を招くばかりでなく大変危険です。
- コードを持って本機を運んだり、コードを引いて電源プラグを抜いたりしないでください。又、コードが刃物などの鋭利なもの、高熱のものに触れないように注意してください。
- コードが損傷しますと大変危険ですので直ちに交換をしてご使用ください。
- 工具(スパナ、ネジ回し等)は、運転前に必ず本機から取り除いてください。
- 工具を本機や至近に置いて運転させますと思わぬけがの原因となります。
- 本機は取扱に不慣れな人、正しい操作のできない人には絶対に使用させないでください。
- 加工するものはクランプや万力でしっかりと固定して加工をしてください。
- 加工するものがしっかりと固定されていないときは、材料がとんだり振りまわされて思わぬ事故の原因となります。
- 電源プラグを差し込み、スイッチに指をかけて運ばないでください。
- 不意に回転して思わぬけがの原因となります。
- 安全に能率よく作業をするために、本機的能力を超えた無理な作業はしないでください。
- 能力を超えた作業は本機の破損のみならず寿命を短くします。又、けがの原因となります。

5. 手入と保管について

- 常に本機の手入れに心がけ、長期間安全にご使用ください。
 - 使用後よごれたままで湿度の高いところに放置しますと、本機の寿命を短くします。
 - 刃物類は常に手入をして良い切れ味でご使用ください。
 - 切れ味が悪いと仕上り面が悪くなるばかりでなく、モーターに負荷が多くかかり作業能率が悪くなります。
 - 本機を常に安全に能率よくご使用していただくため、定期的に点検をしてください。
 - 修理、点検は販売店、又は当社にお申し付けください。
 - 作業が終わりましたら塵を取り除き、手入をしてお子様の手のとどかない湿気の少ないところに保管してください。
- ☞前記は電動工具を使用するときの共通の注意事項です。製品により合致しないところがあります。

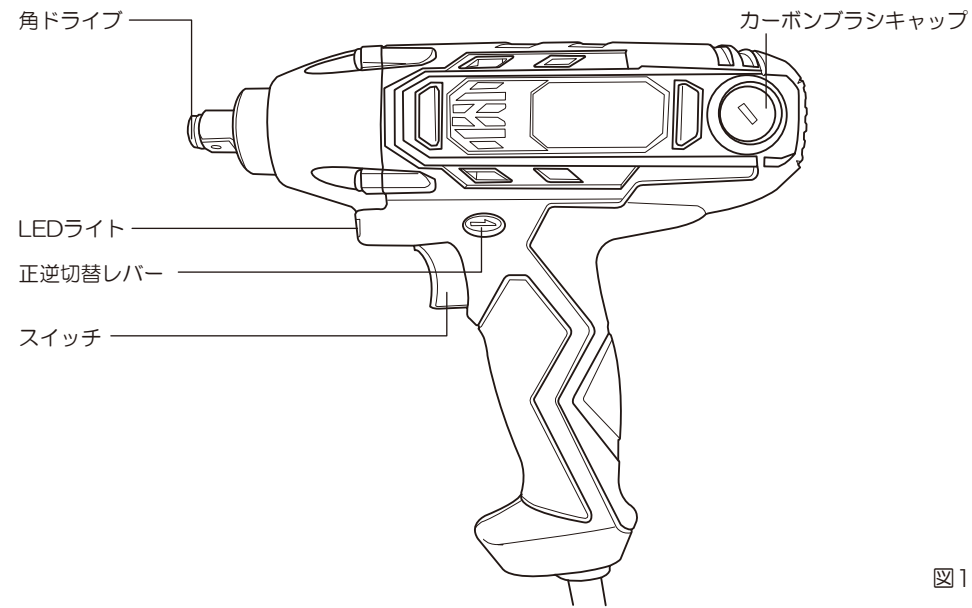
ACインパクトレンチご使用上の注意

- 先に電動工具としての共通の警告・注意事項を述べましたが、ACインパクトレンチとしてさらに述べる警告・注意事項を守ってください。

⚠ 警告

- 本機が輸送途中において衝撃等により接続金具が外れたり、破損することがありますので、使用前に必ず各部を確認してください。破損をしたままご使用になりますと、思わぬ事故の原因になります。
- 使用前に電源コード、プラグを点検してください。電源コード、差し込みプラグを傷んだまま使用しますと、火傷、感電、火災の恐れがあり危険です。
- 使用電源は銘板に表示してある AC100V の電圧でご使用ください。表示を越える電源に接続しますと、モーターの回転が異常に高くなり、本機が破損する恐れがあり危険です。
- 差し込みプラグを電源に差しこむ前に、スイッチが切れていることを確認してください。又、使用後はスイッチが切れていることを確認し、プラグを電源から抜いてください。
- 本機を、雨中や湿気の多いところで使用又は、放置しないでください。又、ぬれた手で差し込みプラグにふれないでください。感電の恐れがあり危険です。
- 使用中は振り回されないように本機を確実に保持してください。不確実な保持は振り回されるなどけがの原因となります。
- 使用中は本機の側面の風穴をふさがらないでください。本機が高温となり火災の原因となります。
- 作業前にソケットが正しく取り付けられているか確認してください。
- ソケットを取り付けた状態での空転はしないでください。
- インパクトレンチを作動させながら、ボルトやナットにあてがわないでください。作業中は危険ですので、ソケットに触れないでください。
- 付属品以外は、市販品のインパクトレンチ用ソケット差込角 1/2(12.7mm) をお買い求めの上、ご使用ください。手動用のソケットは破損する危険がありますので、決して使用しないでください。
- 作業途中(休憩時など)に、機械を直射日光の当たる場所、高温になる場所に放置しないでください。モーターの冷却が十分に行われず、モーター焼けの原因になります。
- 連続使用の場合、負荷のかけ過ぎで使用が続けられますと、モーター焼けの原因になります。本体のハウジング部(モーター周辺)が熱くなるようでしたら、使用を中止して温度が下がるまで待ってください。
- 使用中は巻き込まれるおそれのあるもの(ネクタイなど)は着用しないでください。回転部に巻き込まれてけがの原因となります。
- 高い場所で作業するときは、下に人のいないことを確かめてください。材料や本機を落としたとき、事故の原因となります。

部品の名称



付属品

- 薄肉ディープソケット 17, 19, 21mm
- ハードケース

用途

- 各種ボルト、ナットなどの締め付け、ゆるめ作業。

仕様明細

型 式 名	ACIW-350
電 圧	単相交流100V
消 費 電 力	350W
消 費 電 流	3.7A
回 転 数	0~2,900min ⁻¹
打 撃 数	0~3,100min ⁻¹
最大締付トルク	200N・m
締 付 け 能 力	普通ボルトM10~M16
	高力ボルトM8~M12
本 体 寸 法	長さ220×幅70×高さ190mm
質 量	2.2kg
コ ー ド 長	10m
ソケット差込角	12.7mm (1/2インチ)
絶 縁 方 式	☐二重絶縁
定 格 使 用 時 間	30分

※本機は改良のため予告なしに仕様を変更することがあります。

延長コードについて

- 電源が離れていて延長コードが必要なときは、最高の能率でご使用いただくために、十分な太さのコードを、できるだけ短くご使用ください。
- コードの太さ（導体公称断面積）と最大長さの関係（ご参考）

コードの太さ（導体公称断面積）	延長コードの長さ
1.25 mm ²	15 m
2.0 mm ²	20 m

☐ドラム式の延長コードをご使用の場合は、使用中の発熱などによる電圧降下を防止するため、コードはすべて引き出してご使用ください。

ご使用方法

⚠ 警告

- 使用電源は必ず銘板に表示してあるAC100Vの電圧でご使用ください。表示を超える電圧で使用すると回転が異常に高速となり、機体が破損する恐れがあり、危険です。
- 差込みプラグを電源に差しこむ前に、スイッチが切れていることを確認してください。又、使用後はスイッチが切れていることを確認し、プラグを電源から抜いてください。
- スイッチに指をかけたまま本機を持ち運ばないでください。不意の作動により思わぬけがの原因になります。

■スイッチの操作(図2)

- スイッチは、スイッチの引き金を引くと入り、離すとスイッチが切れます。
 - スイッチの引き具合により、回転数を調節できます。
- ☑スイッチの引込み量が少ない状態で連続使用すると、スイッチに負荷がかかり故障の原因になります。

■正逆切替レバーについて(図3)

回転方向の切替えは正逆切替レバーで行います。

- 正転(締付け)
正転側レバー(本機を正面から見て左)を押し込むと正回転してボルトの締付けが出来ます。
- 逆転(緩め)
逆転側レバー(本機正面から見て右)を押し込むと逆回転してボルトを緩めることが出来ます。

■ソケットの取付け方について(図4)

- ソケット差込角の四角穴に本機先端の角ドライブに差し込んでください。
 - ご購入直後はソケットがきつい場合がありますが、使用する内に馴染んでいきます。それでもきつい場合は軽く潤滑油等で滑りを良くしてください。
- ☑手動用ソケットは本機のインパクトの衝撃で破損する可能性がありますのでインパクトレンチ用のソケットを使用してください。

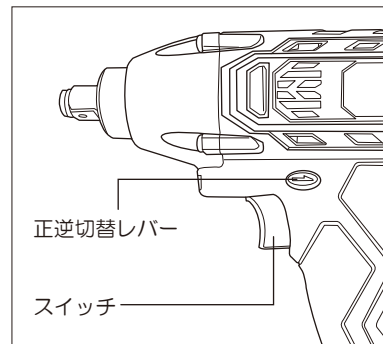


図2

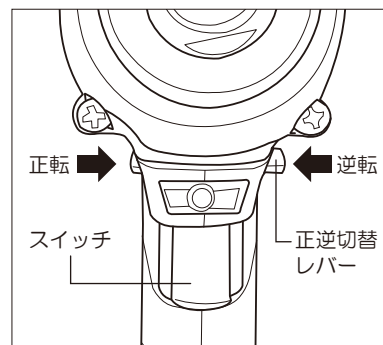


図3

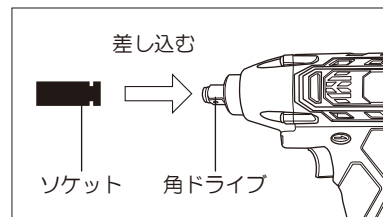


図4

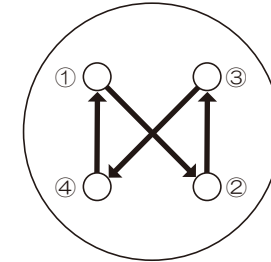
■ナット、ボルトの締め方について

- ナット、ボルトは先に手でネジ山・ネジ穴に回し入れてから本機で続きの作業を行ってください。ナットやボルトがきちんと入らないまま本機で締めてしまうと強力な打撃によりナットやネジが破損する可能性があります。

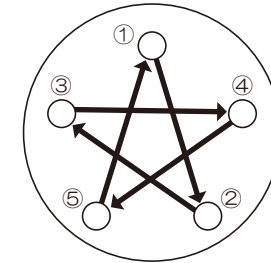
■タイヤ交換について

- ①平坦な場所で車を停車したらエンジンを切りパーキングブレーキをかけてください。
- ②交換するタイヤの近くにジャッキをセットしたら交換するタイヤと対角に当たるタイヤに輪止めをしてください。
- ③本機でホイールナットを右図の順番で外してください。ホイールナットが固着して緩まない場合、まず手動レンチ等で少し緩めてください。このとき全く固着して動かないように見えても回す力を加えることで内部では少し緩んでますのでこの状態で本機を使用してください。
- ④交換するタイヤのホイールナットを全て外したらジャッキでタイヤが少し浮くくらいに車体を持ち上げてタイヤを外してください。
- ⑤交換するタイヤを取り付けたらホイールナットを右図の順番で仮締め(インパクトさせない程度の締付け状態)してください。
- ⑥全てのホイールナットを仮締めしたらジャッキを下降させて車体を完全に下ろして設定されたトルクで本締めしてください。
- ☑本機には締付けトルクの調整機能はありません。本締めは車載レンチまたはトルクレンチを使用して車に設定されたトルク値で締めてください。
- ⑦交換するタイヤ毎にこの一連の作業を行ってください。

4穴タイプ

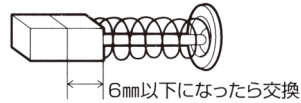


5穴タイプ



カーボンブラシの交換について

- モーター部にカーボンブラシがついています。カーボンブラシは消耗品ですので、時々取りはずして点検し、長さが約6mm位になりましたら新品と交換して下さい。短いものをそのまま使用しますとモーターの故障の原因となります。



- カーボンブラシはモーター部のキャップ⑩をマイナスドライバーで回してとりはずし、左右2箇所を同時に交換して下さい。
- カーボンブラシの寸法 11.5×9×6mm

保守、点検について

■ 使用後の手入れについて

- 作業が終わりましたらスイッチを切り、プラグを電源から抜いてください。
- 作業の前、後に本機の各部を点検してネジのゆるみがないかを確認してください。万一、ゆるんでいるときは締め直して下さい。そのまま使用しますと大変危険です。
- 作業が終わりましたら乾いた布でふいて、湿気の少ないお子様の手の届かないところに保管して下さい。

☞屋外に放置したり、水洗いは絶対にしないで下さい。故障の原因となります。

- 本機に異常がありましたらお買い上げの販売店、または弊社にご連絡下さい。(または修理に出して下さい。)

よくあるご質問

動かなくなったのですが

- 電源プラグが抜けていないか確認してください。
- 電源プラグを直接コンセントに接続して動いた場合は延長コードが原因です。延長コードが長すぎたり、ドラム式でコードを巻いた状態ですと電圧不足で動かない場合があります。
- 本機を押しつけ過ぎたり定格時間を越えたご使用では、過負荷による温度上昇によりモーターが止まる場合があります。再度使用する場合は完全に本機の温度を冷ましてからご使用ください。特に夏場は外気温が高いので使用時間が短くなる傾向があります。
- 上記のいずれにも当てはまらない場合は故障の可能性があります。お買い求めの販売店もしくは弊社までお問い合わせください。

ナットが固くて全く緩みません

- 屋外の環境下で長時間置くと鉄分が錆びてナットが固着してしまう場合があります。この状態のナットを無理に緩めようとしても緩まないの、まず手動レンチ等で緩め方向に回してください。固着して動かないように見えても内部では少し緩んでますのでこの状態で本機を使用してください。

角ドライブや付属のソケットにピンを刺す穴がありません

- 本機は使用頻度の少ないDIY用で設計されているため、ソケットを保持して抜けるのを防ぐピン穴を開けておりません。ご了承ください。

本体内部から火花が見えるのですが

- モーターの特性として火花が見えることがありますが、使用には問題ありません。また、ある時を境に急に火花が見えるようになってきたときはカーボンブラシが限界まで摩耗している可能性があります。本書に従ってカーボンブラシを確認してください。

動作中に焦げ臭い匂いがした、煙が出た

- モーターが焼き付いている可能性があります。ただちにスイッチを切り本体を冷ましてください。